

予備試験の受験・合格状況及び予備試験合格者の司法試験受験・合格状況

【全体の動き】

① 大学在学中合格組（いわゆる最短合格組）関係〔黄色〕

〔予備試験動向〕

- ・大学在学中に予備試験を受験する者は、一定程度増加

H23年	<u>951人</u> : A
→ H24年	<u>1223人</u> : N
→ H25年	<u>1708人</u> : a

- ・大学在学中に予備試験に合格する者も、一定程度増加

H23年	<u>29人</u> : A
→ H24年	<u>44人</u> : N
→ H25年	<u>53人</u> : a

〔司法試験動向〕

- ・大学在学中に司法試験に合格する者（いわゆる最短合格組）は増加せず一桁台が続いており、今後もこの最短合格組が大きく増加することはないのではないかと見込まれる

H24年	<u>9人</u> : ア	→	H25年	<u>5人</u> : セ	（減少）
（H25年予備試験で最短合格の可能性のある者は、 <u>4人</u> : b + c）					

② 法科大学院在学中合格組（途中抜けの可能性あり）〔ページュ，緑〕

〔予備試験動向〕

- ・法科大学院在学中に予備試験を受験する者は大幅に増加

H23年	<u>170人</u> : F	（+最大313人（Eの285+Iの28※1））
→ H24年	<u>508人</u> : S	（+最大481人（Rの434+Vの47※1））
→ H25年	<u>1426人</u> : f	（+最大839人（eの768+iの71※1））

- ・法科大学院在学中に予備試験に合格する者も増加

H23年	<u>6人</u> : F	（+最大10人（Eの10+Iの0※1））
→ H24年	<u>60人</u> : S	（+最大26人（Rの25+Vの1※1））
→ H25年	<u>161人</u> : f	（+最大57人（eの54+iの3※1））

ただし、H25年法科大学院在学中予備試験受験者1426人（f）のうち、1156人（h）が法科大学院3年での受験（合格者は157人）。

これらの者は、予備試験に合格しても、通常司法試験受験時には法科大学院を修了し、そのほとんどは法科大学院修了の資格で司法試験を受験している（ス、ハ）ため、受験資格としての意味はない。

→法科大学院生が、予備試験を模擬試験的に利用していると推測される。

※1 大学4年生で予備試験の出願をした者（E，R，e）及び法科大学

院3年で予備試験の出願をした者（I, V, i）も、法科大学院在学中に予備試験を受験する者に含まれる可能性がある。

まず、大学4年生で予備試験の出願をした者（E, R, e）については、予備試験受験時に法科大学院に入学している可能性がある。

この点については、翌年の司法試験受験状況からすると、その多くが法科大学院に入学しているのではないかと推測される。（例えば、平成24年予備試験のTを見ると、法科大学院2年で予備試験に合格した者は6人となっているが、右にスライドして、平成25年司法試験のトを見ると出願者32人となっている。これは、左側H24年予備試験のRの欄の大学4年で予備試験に出願し、合格した25人の多くが予備試験受験時には法科大学院に入学しているものと推測される。）

また、法科大学院3年で予備試験の出願をした者（I, V, i）については、留年して法科大学院に残っている可能性がある。

〔司法試験動向〕

- ・法科大学院在学中に予備試験合格の資格で司法試験を受験する者は増加
H24年 7人：オ（+最大18人：エ ※2）
→ H25年 31人：ツ（+最大37人：チ ※2）

※2 大学4年生で司法試験の出願をした者（エ, チ）については、司法試験受験時に法科大学院に入学している可能性がある。

ただ、どの程度が法科大学院に入学しているかは、現時点では把握できておらず、推測の材料もない。（今後、可能な限り調査）

- ・法科大学院在学中に司法試験に合格して中退の可能性がある者は増加
H24年 最大25人：エ, オ, ク（赤字）
→ H25年 最大69人：チ, ツ, ナ（赤字）

そのうち

法科大学院1年又は2年で司法試験に合格して中退の可能性がある者

H24年 最大18人（エの17人+カの1人）

→ H25年 最大36人（チの36人+テの0人）

法科大学院3年で司法試験に合格して中退の可能性がある者 ※3

H24年 最大7人（キの5人+クの2人）

→ H25年 最大33人（トの29人+ナの4人）

※3 法科大学院3年生で司法試験に合格した場合、9月の合格発表後、11月下旬の司法修習開始までに中退する可能性がある。

【参考】

平成24年司法試験を予備試験合格の資格で受験し合格した58人（シ）のうち、平成24年11月から開始された第66期司法修習生となった者は、40人。

(表の見方)

- ・ 主に大学在学中と法科大学院在学中の者について、予備試験の受験・合格状況と、予備試験に合格した者の司法試験受験・合格状況を学年別に整理したもの。
- ・ 前提として、予備試験を経由して司法試験を受験する場合、予備試験合格の翌年以降に司法試験を受験することになる。
 - A 3の表の上の段は、左側がH 2 3年予備試験の受験・合格状況、右側がH 2 3年予備試験に合格した人が通常受験するH 2 4年の司法試験。下の段は、左側がH 2 4年の予備試験で右側にH 2 5年の司法試験となっている。
 - A 4の表は、H 2 5年の予備試験のみの表。
- ・ 受験者の学年別のデータについて、現在法務省で把握できているのは、予備試験、司法試験ともに、出願時の自己申告に基づく学年のみ。これがそれぞれ一番左の欄（「予備試験出願時最終学歴」、「司法試験出願時最終学歴」の欄）となる。
- ・ 予備試験の出願は毎年1 2月～2月頃、司法試験の出願は毎年1 1月～1 2月頃、すなわち年度が変わる前なので、実際の受験時の学歴は、出願時の学年の1つ上と推測され、その推測される状況を「推測される予備試験受験時の属性」「推測される司法試験受験時の属性」という欄に記載している。

※ 注意点

平成25年司法試験の受験者には、平成23年の予備試験合格者も含まれる。
また、出願時の学年というのは、あくまで自己申告にすぎないので、正確でない可能性もある。

